

# 中日ニュース

シネスコ版

中野分号=2-ス No 184  
高野分号=2-ス No 344  
新巻分号=2-ス No 172

No. 509

38.10.18

特集

## 若人の祭典

—東京国際スポーツ大会

オリンピックの試金石東京国際スポーツ大会は十一日から新装なった千駄谷の国立競技場など十八会場で熱戦の火蓋を切りました。

緑の芝生が美しく映える競技場は六万の大観衆でぎっしり。アルゼンチンを先頭に招待、自費参加選手が堂々の入場。日本チームをしんがりに総勢千五百の若人の祭典です。

十二日から始まった競技はまづ陸上百メートル決勝でキューバ唯一人の参加者フィゲロラがヘバウフ（西独）と激しいデット・ヒートを展開、僅差で優勝。

他の種目でも外人選手の活躍は素晴らしく日本選手のつけ入る隙がありません。その中であって唯一人気を吐いた依田郁子嬢は八十メートル障害で本年世界最高をマークして強豪を退りぞけました。

一方、水上競技は欧州勢が奮闘、男子日本水泳はますます赤信号です。女子陣は背泳の田中聡子未だ健在。その貫録を示していました。

またソ連との対抗が激しい体操競技は遠藤らがダイナミックな技で他を圧倒しました。

陸上最後を飾るマラソンは甲州街道のオリンピックコースで行なわれ、君原ら、日本勢は大健闘。優勝はジュリアン選手にとられたとはいえ君原のゴール前の追い込み込みは日本マラソンの心意気をまざまざと見せつけました。

680円